

12月10日、総合文化センターで『昭和ノスタルジアコンサート～懐かしい思い出の流行歌の夕べ～』が開催され、あいにくの悪天候にもかかわらず町内外から140人が来場しました。

道内を拠点に活動し、今や全国各地で公演を行っている『北海道歌旅座』を迎え、当町の昭和の画像を映しながら、「時代」、「花嫁」、「いちご白書をもう一度」など昭和を代表する名曲30曲を披露しました。

歌旅座のみなさんが奏でる力強い歌声と美しいヴァイオリンの音色、迫力のあるダンスコース。また、観客全員で「ふるさと」を合唱したときには、ひとり一人の人生の歩みを思い出し、涙ぐむ多くの人の姿がありました。

コンサート終了後には、メインボーカルのジュンコさんとヴァイオリン奏者の高杉奈梨子さんのサイン会も行われ、長蛇の列を作っていました。

昨年、積丹町誕生60年の節目を迎えた私たちの郷土積丹町。みんなで力を合わせ、郷土愛を育み、まちづくりの新たな歴史を築いていきましょう。

12月10日、総合文化センターで『昭和ノスタルジアコンサート～懐かしい思い出の流行歌の夕べ～』が開催され、あいにくの悪天候にもかかわらず町内外から140人が来場しました。

道内を拠点に活動し、今や全国各地で公演を行っている『北海道歌旅座』を迎え、当町の昭和の画像を映しながら、「時代」、「花嫁」、「いちご白書をもう一度」など昭和を代表する名曲30曲を披露しました。

歌旅座のみなさんが奏でる力強い歌声と美しいヴァイオリンの音色、迫力のあるダンスコース。また、観客全員で「ふるさと」を合唱したときには、ひとり一人の人生の歩みを思い出し、涙ぐむ多くの人の姿がありました。

コンサート終了後には、メインボーカルのジュンコさんとヴァイオリン奏者の高杉奈梨子さんのサイン会も行われ、長蛇の列を作っていました。

昨年、積丹町誕生60年の節目を迎えた私たちの郷土積丹町。みんなで力を合わせ、郷土愛を育み、まちづくりの新たな歴史を築いていきましょう。



### ■ 民生委員・児童委員

(敬称略)

委員氏名 (電話番号)	担当地区	委員氏名 (電話番号)	担当地区
道房 裕 (44-2614)	小泊・厚苦 寺町・常盤	小原 一雄 (45-6552)	入舸町
三上 末子 (44-2467)	柳町・浜町 茶津	佐藤 壽一 (45-6138)	日司町 (日司泊除く)
別所 範一 (44-2610)	西仲・中央 東浦	郷六 憲子 (45-6162)	野塚町 日司泊
山崎 美枝子 (44-3171)	山岸 西浦	海田 富佐子 (45-6079)	野塚町 丸山
吉田 裕子 (IP 44-2421)	栄町	外崎 晃記 (46-5075)	西河町 来岸町
谷橋 誠子 (44-3451)	多茂木 川上	安宅 範子 (46-5108)	余別町 神岬町
松葉 和弘 (44-2309)	婦美町	新井田 澄子 (46-5072)	余別町 神岬町
富士谷 哲朗 (45-6260)	幌武意町		

### ■ 主任児童委員

(敬称略)

委員	電話番号
廣和 美恵子 (新・余別町)	4 6 - 5 1 7 4
菊谷 知子 (美国町)	4 4 - 3 6 2 1

## 17名の各地区民生委員・児童委員を紹介します

様々な心配や悩みごとに身近な相談相手になってくれる民生委員・児童委員が平成28年11月30日の任期満了に伴い改選され、厚生労働大臣と北海道知事から17名の方々が委嘱され、松井町長から委嘱状が伝達されました。

今回委嘱された委員の任期は、平成28年12月1日から平成31年11月30日までの3年間です。各担当地区で、住民の立場に立った活動を行いながら地域福祉の増進に努めます。

また、今回の任期満了に伴い主任児童委員の佐藤多美子さん(美国町)が退任されました。長年のご尽力に心から感謝します。

# 北海道日本ハムファイターズ 積丹町応援大使 鍵谷陽平選手・中村勝選手が来町！

11月22日、今年、日本一に輝いた北海道日本ハムファイターズの積丹町応援大使 鍵谷陽平選手・中村勝選手が来町し、町民と楽しいひとときを過ごしました。この日両選手は、美国小学校を会場に行われた町内全校児童生徒との交流会に参加したほか、岬の湯じゃこたん、B&G海洋センターを訪れました。

交流会では、選手への質問コーナーや選手と子どもたちがキャッチボールをするなど、短い時間をみんなが楽しみました。また、B&G海洋センターの「ブックフェスタ」にも訪れ、鍵谷・中村両選手から教育委員会に、北海道日本ハムファイターズ選手会作成の絵本2冊が寄贈されました。

その後、総合文化センターでトークショーが催され、道内外から141人が来場しました。

トークショーでは、優勝パレードの裏話や選手への質問、サイン入りユニフォームとボールが当たる抽選会・じゃんけん大会などが行われ、たくさんのお歓声が。最後に、両選手が来シーズンも日本一になることを約束し、大きな拍手が会場を包みました。

今年も、鍵谷・中村両選手、北海道日本ハムファイターズをみんなで応援しましょう！



▲積丹町長賞の外崎享俊君（右）と銀賞の野宮瑠香さん（左）



▲積丹町教育長賞の佐藤達史君

## MOA美術館 小樽 児童作品展

- 入賞
- 外崎享俊くん（余別小5年） 絵画の部
  - 野宮瑠香さん（余別小4年） 絵画の部
  - 佐藤達史くん（野塚小5年） 書写の部

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団が運営するMOA美術館（静岡県熱海市）では、小学生を対象に毎年全国規模の作品展を行っております。

MOA美術館小樽児童作品展（実行委員長・中村裕之衆議）では、小樽市、余市町、仁木町、古平町、積丹町の児童から、絵画119点、書写293点の応募がありました。

募があり、11月27日に市立小樽美術館で表彰式が挙行されました。

当町からは、外崎享俊君が絵画の部で「積丹町長賞」、佐藤達史君が書写の部で「積丹町教育長賞」、野宮瑠香さんが絵画の部で「銀賞」をそれぞれ受賞し、表彰式の審査講評では、3作品の高い評価が紹介されました。

# 北後志消防組合積丹支署

## 最強の消防士目指し日々訓練

### 狙うは全国大会出場！

北後志消防組合積丹支署（俵谷宗義支署長・署員17名）では、支署の建物内を使用し「ほふく救出訓練」が行われています。

いつ発生するかわからない災害に対応する技術力を身につけようと12月から毎週行われています。



▲ほふく救出訓練の様子

この訓練は、火災等で煙に巻かれた人がいることを想定。隊員は、空気呼吸器を装着して煙道内を探索し、要救助者を安全かつ迅速に救出します。

また、今年7月の『全道消防救助技術訓練指導会』（救助技術大会）に向けた訓練も行っています。

この大会は、救助技術の基本的要素を練磨することで消防救助活動に不可欠な体力・精神力・技術力を養うとともに、他の模範となり、常に住民の期待に応えられる隊員の育成を目指すものです。7種目ある中で、現在訓練を行っている「ほふく救出」の種目に当町から3名の



▲全国消防救助大会「ほふく救出競技」出場を目指す左から佐々木隊員、増山隊員、北上隊員

消防士が出場する予定です。

同支署では過去に、はしご登はん、ほふく救出、引揚救助の3種目に出場しており、その中でも引揚救助では、都市部の消防士と競う中で、平成18年、19年、24年の3大会で優勝し全国大会へ出場した実績があります。

全国大会へ出場した先輩消防士たちがその時に得た経験や技術、精神力を学び引き継いで、全国大会出場を目指し、日々訓練に励んでいます。

## 建築物の所有者・管理者の方へ

## 空き家の適切な維持管理をお願いします

### 適切に維持管理されていない例

ドアが壊れており、誰でも侵入できる状態

可燃物が放置されており、放火を誘発しそうな状態

老朽化が進み、風雪で建物が倒壊したり部材が飛びそうな状態

落雪



＝ “落雪” 事故に注意を！ ＝

適切な管理が行われず放置されているような空き家は、周囲にさまざまな悪影響を及ぼす可能性があります。特に冬期間は、**屋根からの落雪**などにより重大な事故を起こす危険もあります。空き家が原因で近隣や通行人に損害を与えた場合、**所有者や管理者はその責任を問われかねません。**空き家の適切な維持管理をお願いします。